《57年消防白書》

火災は減、救急は増加

大館周辺広域圏組合消防本部では、このほど五十七年中の火災の発生状況と救急車の出動状況をまとめました。これによると圏域（大館市・比内町・田代町）での火災発生件数、損害額は五十六年に比べて減少。救急車の出動回数については、過去最高であった五十五年に次ぐ出動回数になっています。以下、消防白書のあらましをお伝えします。

火災の発生は木曜日の午後に多い

広域消防本部では、一般家庭の火の元検査や工場、学校、旅館などの査察業務を強力に推進し火災予防に努めてきました。その結果、五十七年の出火件数は三十三件で、損害額とも五十二年以来最も少ない記録となりました。人口一万人当りの出火件数では、圏域が三・四件で、全国平均五・二件、県平均四・六件を下回っています。

＜本市の火災発生件数は＞

二十一件で、焼失面積三千三百平方㍍、損害額一億一千六百万円となっています。

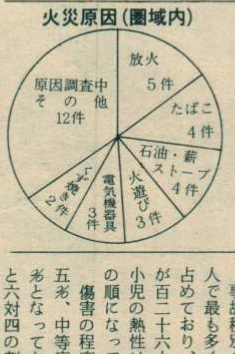
＜火災発生の多い月は＞

十月が五件で最も多く、三月、六月の四件の順になっています。また、十二月は火気使用の最も増える時期にもかかわらず、火災が一件もなく、二十五年以来の記録となっています。

＜火災の出火原因は＞

放火がトップで五件、次いでたばこ、火遊びの順になっています。たばこによる失火は、飲酒、泥酔時が多く、火遊びの原因は、子供の目に付く所にマッチ、ライターを不用意に置いていることがあげられます。

火災原因（圏域内）



＜火災発生の曜日と時間帯は＞

木曜日が多く、時間帯では午後二時から三時の間の発生率が最も高くなっています。

＜火災発生時の気象状況は＞

南西の微風、温度が一〇度、湿度八〇％のときに多く発生しています。

市民一人一人の注意こそが発生予防の最善策です。皆さんのご協力をお願いします。

救急車での搬送は圏民78人に1人

五十七年中の圏域の救急業務の実施状況は、出動回数が一千二百二十八回で、過去最高の五十五年の一千二百四十五回に次ぐ回数になっており、圏民七十八人に一人が救急車で搬送されたことになります。

事故種別では、急病が七百三人で最も多く、全体の五七％を占めており、内訳では、脳卒中が百二十六人でトップ、次いで小児の熱性けいれん、心臓疾患の順になっています。

傷害の程度別では、軽症が四五％、中等症三五％、重症一八％となっており、男女別にみると六対四の割合で男性が多く、特に交通事故などの不慮の事故による外傷では女性が男性の約半数で、労働災害、運動競技に至っては八〇～九〇％が男性になっています。

なお、消防本署では三台の救急車を配置して救急業務を行っていますが、緊急を要しない出動要請が相変わらず多く、生命にかかわる傷病以外の要請はしないように呼びかけています。

救急出動状況（圏域内）

出動状況	回数
急病	703
交通事故	263
一般負傷	123
転院	73
災害	25
労働競技	13
運動の	27
その他	

老人・子供を火災から守ろう

年々、冬期間の火災による死者が増えています。

五十六年の火災による死者は全国で一千二百二十六人、うち身体不自由者や幼児、老人など自力避難が困難な方が約五四％、六百六十人にも及んでいます。

このような身体の弱者を火災から守るため、次の事項に注意しましょう。

1　冬囲いで出入口や窓をふさいだり、開閉できない状態にしない

2　お年寄りや身体の不自由な方は、避難し易い場所に就寝させる

お年寄りは自力での避難が難しいので、二方向に避難が可能な一階や出入口付近に就寝させましょう。

3　火気使用器具の取扱い、たばこには十分注意する

ストーブなどの取扱い、転倒防止、可燃物の落下などに注意する。喫煙する方には水を入れた灰皿を準備し、寝たきりのお年寄りなどが喫煙する場合は家族が同席するなどの注意が必要です。

4　出火防止のため、室内外の紙類や衣類などを整理する

5　火災の早期発見のために、音を発して火災を知らせる簡単な警報器を設置する

6　隣り近所に協力を願う

家族だけで火災に対処するには限界があります。隣り近所の方に万一の場合の通報、初期消火などの協力体制をお願いしておく。また、現場に到着した消防隊に、情報を早く提供する体制をつくっておくこと。

7　家族ぐるみで訓練を行う

頭の中では理解していても〝いざ〟という時には、なかなか適切な行動がとれないものです。発見、救出など、ミニ防災訓練を家族ぐるみで行い、防災についての行動力を高めましょう。

消火器の悪質販売にご注意

消火器の悪質訪問販売が市内に出没しています。

消防署でも消防団でも、業者に販売を頼んだり委託はしていません。非常に高い値段で販売していますので、訪問されたときは、買う前に消防署に連絡してください。

消防署 ☎43～4151

フォトニュース

▲第3回市民歩くスキーの集い……1月15日
市民の森で行われたこの集いには230人が参加。ワックスの使用法、正しい滑り方の指導を受けた後、2キロと4キロのコースに分かれ、思い思いのペースで歩くスキーを満喫しました。

▼婦人のためのスキー教室……1月17日から6日間、長根山の大館スキー場で行われた教室には、定員を10人も上回る30人が参加。初めてスキーを履いた方もあり、基本をマスターしようと真剣に取り組んでいました。

各種相談日

ところ・市役所会議室
じかん・午前9時～午後4時
交通事故・2月8、15、22日
法　律・2月18日
社会保険・2月21日
家庭教育・2月7、14、21、28日
国　税・2月25日

第二回障害者福祉展

障害者の皆さんに障害者に対する正しい理解と関心を深めていただくために「第二回障害者福祉展」が開催されます。展示会には障害者が自ら製作した絵画、書、手芸な

ご利用ください各種資金の貸付制度

◆はり、きゅう、マッサージの施術費助成制度

満七十歳以上の方がマッサージなどの施術を受けたときに、施術費の一部を助成する制度です。

・助成額　はり、きゅう、マッサージとも一人一回につき五百円、四回を限度として助成　・申込み及び問合せ　福祉事務所（☎49～3111　内線209）

◆国民健康保険の高額療養費貸付制度

国保の高額療養費支給制度の適用を受ける方で、負担金の支払いが困難な方に資金をお貸しする制度です。

・貸付額　高額療養費の支給見込額　・無利子とし、高額療養費支給日に一括償還　・申込み及び問合せ　保険年金課（☎49～3111　内線235、243）

市長の対話ノート

No.62

天気予報

毎日のテレビに気象衛生〝ひまわり〟からの雲の連続写真と、天気予報が出されます。雲の動きは決まったように西方から東方に変化します。

雲の動きは、陸地と海上で様々に変化しますし、それに地球そのものも東から西に自転しています。その基本にたって天気を予報しているのですが、どうも当りが少ないといわれています。

雲の動きはともかく、なぜか私たちは地球が自転しているのを忘れ、見失ってはいないでしょうか。

自然現象の中には、未だに私たちの解明のできない部分がたくさんあります。それを解明することが文明をつくり出しているのです。ですから解明こそ発明であり、真実であり、社会の発展であり、私たちの先輩はその中から今日を築きあげてきました。

ところが近ごろ、ダーウインの「進化論」を否定する動きが大きくなって来ました。生物は数億年の歴史の中で適応を求めて変化を繰り返し、今日があります。その今日も自然の中からの真実を求め、常に変化を続けているのです。それを否定するということはどういうことでしょうか。

科学を否定し、歴史を否定することは人間を否定することに通じ、現代社会を固定化視することの何ものでもないのではないでしょうか。

私たちは、常に現実に足をおろし、更に人間であるが故に「未知」への解明をめざして進化を続けていることを忘れてはなりません。

貸山健治郎